

特集記事①

平成30年7月豪雨から4年



警防課

1 災害の概要

平成30年6月28日以降、北日本に停滞していた前線は、7月4日にかけて北海道付近に北上した後、5日には西日本まで南下してその後停滞しました。

また、6月29日に発生した台風第7号は、東シナ海を北上し、対馬海峡付近で進路を北東に変えた後、7月4日15時に日本海で温帯低気圧に変わりました。

この前線や台風第7号の影響により、日本付近に暖かく非常に湿った空気が供給され続け、西日本を中心に全国的に広い範囲で長期間にわたる記録的な大雨となりました。

この長時間にわたる記録的な大雨により、各地で河川の氾濫による浸水や土砂崩れ等が発生し、特に岡山県、広島県及び愛媛県においては、多数の死者が発生するなど甚大な被害となりました。

この大雨による死者数は、平成元年以降に発生した風水害で最多となりました。

2 緊急消防援助隊

7月6日以降、消防庁長官からの求め又は指示を受けた緊急消防援助隊は、岡山県、広島県、愛媛県及び高知県に向けて出動しました。（7月8日、平成30年7月豪雨における緊急消防援助隊の一連の出動について消防庁長官の指示とされました。）

(1) 4県に出動した緊急消防援助隊

- ・期間 7月6日から31日まで
(26日間)
- ・派遣都道府県 1都2府20県
- ・派遣隊数 1,383隊
- ・派遣者数 5,385人
- ・延べ活動数 3,713隊、1万5,287人

(2) 大阪府大隊の派遣状況

- ・ 期間 7月6日から31日まで
(26日間)
- ・ 派遣隊数 359隊
- ・ 派遣者数 1,341人

(3) 本消防組合の派遣状況

- ・ 期間 7月6日から31日まで
(26日間)
- ・ 派遣隊数 14隊
- ・ 派遣者数 58人



隊3人を派遣。

- ⑧ 第8次派遣隊(7月21日～25日)
大阪府大隊第14次派遣隊として消火隊1隊4人を派遣。
- ⑨ 第9次派遣隊(7月24日～28日)
大阪府大隊第15次派遣隊として後方支援隊1隊2人を派遣。
- ⑩ 第10次派遣隊(7月27日～31日)
大阪府大隊第16次派遣隊として8人(救助隊1隊5人、救急隊1隊3人)を派遣。
- ⑪ 第11次派遣隊(7月30日～7月31日)
大阪府大隊第17次派遣隊として救助隊1隊5人を派遣。



3 本消防組合の動き(詳細)

(1) 派遣状況

- ① 第1次派遣隊(7月6日～10日)
大阪府大隊第3次派遣隊として9人(救助隊1隊5人、救急隊1隊4人)を派遣。
- ② 第2次派遣隊(7月7日～10日)
大阪府大隊第4次派遣隊として指揮支援隊1隊3人を派遣。
- ③ 第3次派遣隊(7月8日～13日)
大阪府大隊第7次派遣隊として後方支援隊1隊4人を派遣。
- ④ 第4次派遣隊(7月9日～13日)
大阪府大隊第9次派遣隊として12人(指揮支援隊1隊3人、救助隊1隊5人、救急隊1隊4人)を派遣。
- ⑤ 第5次派遣隊(7月12日～16日)
大阪府大隊第11次派遣隊として7人(救助隊1隊5人、後方支援隊1隊2人)を派遣。
- ⑥ 第6次派遣隊(7月15日～19日)
大阪府大隊第12次派遣隊として後方支援隊1人を派遣。
- ⑦ 第7次派遣隊(7月18日～22日)
大阪府大隊第13次派遣隊として救急隊1

(2) 活動拠点及び活動内容

- ① 救助隊
東広島市中河内地区・坂町小屋浦地区・安芸区矢野東7丁目の災害現場にて救助活動
- ② 救急隊
広島市安芸消防署にて救急中隊指揮所運営(7月8日～)、熊野町川角地区等で活動(7月12日～)、B & G海洋センターに移動(7月13日～)
- ③ 指揮支援隊
竹原市下三永地区・安芸津町三津地区・坂町小屋浦地区の災害現場にて指揮活動
- ④ 後方支援隊
広島県消防学校にて後方支援活動(7月8日～)、B & G海洋センターにて後方支援活動(7月12日～)
- ⑤ 消火隊
坂町小屋浦地区の災害現場にて救助活動

- (3) 大阪府大隊による救出者
生存者 2 人 (57 歳男性、54 歳女性)、死者
12 人 (男性 7 人、女性 5 人)

